

レース分析データ活用ワークショップのご案内

日本水泳連盟 科学委員会

レース分析データの活用・普及を目指し、下記のワークショップを開催いたします。

<概要>

題名：レース分析データの見方

対象者：レース分析データに興味のある方、使い方を知りたい方（参加申し込み不要）

※ 本大会のADカードを保有する方(学生、マネージャー、指導者等)に限ります

内容：

① スタート局面とターン局面の考え方とスタート分析内容の紹介

レースにおけるスタート局面とターン局面の重要性の確認と

パリ五輪選考会から行われている、新たなスタート分析に関する話題を提供します。

担当 酒井 紳（東京女子体育大学）

② ストローク局面について

ストローク局面データ（ストローク頻度、ストローク長、泳速度）について解説します。

担当 佐藤 大典（大阪体育大学スポーツ科学センター）

③ 全体への質疑応答・アンケートの実施

上記のテーマに関する質疑時間と意見交換会を実施します。

※上記①および②については、それぞれ20 - 25分程度で実施する予定です。

参加者とともに考えるワークショップの形で進めていきたいと考えております。

日付：2024年9月4日（水）（公式練習日）

時間：監督者会議終了20分後を目処に開始します。

場所：プレスワーキングルーム（1階9レーンスタート側すぐ）

◆ オンデマンド配信について

本ワークショップの映像は、大会期間中に限定し、オンデマンドにて配信する予定です。

ワークショップの実施風景をビデオカメラにて撮影し、映像データとして録画します。

そのため、ワークショップ中の発言者の姿や声が録画されますことをご了承ください。

◆ レース分析データについて

本大会を含む過去のレース分析データはこちらから閲覧可能です。

<https://goo.gl/icBy9P>



以上